

くらし **誰もが生き生きと働ける社会を目指して 働きやすい職場づくり推進フォーラム**



働きやすい職場づくりや健康経営に取り組む企業を表彰します。また、事業創造大学院大学事業創造研究科教授の浅野浩美さん=写真=による基調講演のほか、働きやすい職場づくり推進賞・健康経営優秀賞の受賞企業らが取り組み事例を発表するパネルディスカッションを行います。

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標

- 日時 2月7日(金)13時半～16時半
- 場所 東区プラザ(東区役所内)
- 定員 先着100人
- 参加費 無料
- 申し込み 1月22日(水)から新潟市ホームページで申し込み
- ☎健康増進課(☎025-212-8154)



市政 **市内の飲食店21店舗で提供 野菜deちよいしおメニュー**

食塩の取り過ぎは、脳卒中などの脳血管疾患や胃がんなどの発症リスクを高める要因の一つといわれています。予防のためには、食塩を減らして野菜を食べるなど栄養バランスの良い食生活を送ることが大切です。

3月7日(金)まで、旬の野菜を使った減塩でおいしく食べられる「野菜deちよいしおメニュー」を提供しています。

また、メニューを食べてアンケートに回答した人の中から抽選で減塩しょうゆをプレゼントします。

この機会に、ちよいしおメニューを食べて、食生活を見直してみませんか。

※提供店舗、アンケート回答方法など詳しくは新潟市ホームページに掲載

☎健康増進課(☎025-212-8166)



▲鮭とキノコほうれん草のペペロンチーノ ちよいしおセット (ひら麺と珈琲 Ojigo)



市政 **名誉市民 佐野藤三郎氏を紹介する 特設サイトを公開**



昨年3月に4人目の新潟市名誉市民となった佐野氏の功績や軌跡を紹介するウェブサイト=右=を、(公財)食の新潟国際賞財団と亀田郷土地改良区が共同で開設しました。農業やまちづくり、国際交流など幅広い分野で功績を残した佐野氏に関する動画やマンガも掲載しています。

☎秘書課(☎025-226-2045)



文化スポーツ観 **市内28会場で約130公演を開催 1/25(土)新潟ジャズストリート**

古町などの店やコンサート施設などがライブ会場となる、新潟ジャズストリートを開催します。新潟のミュージシャンなどが奏でる、さまざまなスタイルのジャズを楽しんでみませんか。

- 時間 12時～23時
- 共通1日券 2,000円(500円分のドリンクチケット付き) ※中学生以下無料。チケットは各会場などで販売。詳しくは同イベント公式ホームページに掲載
- ☎文化政策課(☎025-226-2631)



「国際湿地都市 NIIGATA」を楽しもう!



☎環境政策課(☎025-226-1359)

新潟市は大都市でありながら、潟と呼ばれる多くの湖沼が点在し、また水田面積が全国1位であるなど、都市と自然が隣り合い共存する、類まれな環境を持つ都市です。国内で初めて「ラムサール条約湿地自治体認証」を受け、国際的な湿地都市としての取り組みを進めています。

「ラムサール条約湿地自治体認証」とは

湿地の保全・再生、管理への地域関係者の参加や、普及啓発、環境教育などを行う都市を認証するものです。新潟市はコハクチョウ越冬数全国1位など、豊かな自然環境であることなどが評価され、認証されました。



▲ラムサール条約湿地「佐潟」

「潟シンポジウム」を開催

都市と湿地・自然との関わり方を通して、将来の「国際湿地都市 NIIGATA」のデザインを考えるシンポジウムを開催します。福島潟を研究のフィールドとしている早稲田大学教授で(公財)土木学会会長の佐々木葉さん=写真=による基調講演のほか、国際湿地都市 NIIGATA ロゴマークの発表、パネルディスカッションなどを行います。

- 日時 2月9日(日)13時半～16時半
- 場所 県民会館(中央区一番堀通町)
- 定員 先着250人 ●参加費 無料
- 申し込み 1月23日(木)から電話で市役所コールセンター(☎025-243-4894)



潟のデジタル博物館

新潟市内に点在する潟に関わる資料や情報をまとめたデジタル博物館です。新潟市内を中心とした越後平野の潟の自然・歴史・民俗などの資料を公開しています。



ハクチョウの目撃情報を募集



市民の皆さんが撮影したハクチョウの画像とコメントをNPO法人新潟湿地都市研究所LINEアカウントに投稿してもらい、位置情報と合わせることで、市内で越冬中のハクチョウの生態を調査します。投稿の情報は随時、同LINEアカウントで公表しています。投稿に協力をお願いします。 ※投稿方法など詳しくは同LINEアカウントに掲載



●調査期間 3月31日(月)まで